

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 コムテック株式会社
 コード番号 9657 URL <http://www.ct-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 菅家 博
 (氏名) 戒能 勢津雄

TEL 03-5419-5551

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,464	△18.2	337	△43.6	308	△47.5	93	△60.8
21年3月期第3四半期	11,565	—	598	—	586	—	237	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	16.62	—
21年3月期第3四半期	41.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,060	2,596	35.8	451.17
21年3月期	7,251	2,706	35.3	456.45

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,530百万円 21年3月期 2,559百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	20.00	27.00
22年3月期	—	7.00	—		
22年3月期(予想)				13.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,530	△11.0	630	△13.1	590	△16.6	285	—	50.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	6,191,100株	21年3月期	6,191,100株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	582,842株	21年3月期	582,682株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	5,608,324株	21年3月期第3四半期	5,662,784株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、内外の在庫調整の進展や海外経済の改善を背景とした輸出、生産の増加などから、一部で景気の持ち直しが見られるものの、雇用・所得環境の悪化や、設備投資の抑制が続いており、またデフレによる企業業績への懸念があることなどから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

情報サービス産業においては、企業収益の悪化や設備過剰感の高まりの影響から、引き続き顧客の情報関連投資は抑制され、また顧客からの要求水準の高まりなどから、ビジネス環境は厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、グループ総合力強化のため、コムテックグループが持つサービス・品質・人材・営業力をグループ間で相乗・相互補完する『ONE COMTEC』を推進するとともに、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力できる「営業とラインを一体化した営業体制」を構築いたしました。

また営業面においては、ジェネリック医薬品業界向けにCRMの大型案件を獲得するなど、積極的に未開拓分野進出・新規顧客獲得を進め、さらに管理面においては経営体質強化プロジェクトを発足して業務の効率化や経費管理の徹底などを図り、より筋肉質な体制への変革に努めてまいりました。

しかしながら、前年度後半から引き続いた景気後退の影響から、顧客の投資および経費の抑制策が想定以上となり、各事業分野の業績面を圧迫いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高94億64百万円（前年同期比18.2%減）、営業利益3億37百万円（同43.6%減）、経常利益3億8百万円（同47.5%減）、四半期純利益93百万円（同60.8%減）となりました。

①ITサービス（IT支援）

当サービスは、ジェネリック製薬会社向けCRM構築案件の新規獲得や、ITベンダー向けシステム開発・運用・インフラ構築などの一部業務の伸長があったものの、顧客の投資意欲減退や経費抑制策から、一般的に業務縮小や凍結、サービス単価の引下げ等があり、前年同期と比べ減収となりました。

これらの結果、売上高は41億6百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

②マーケティングサポートサービス（営業支援）

当サービスは、景気後退による顧客の業務縮小や内製化の傾向から、医療機器製造販売会社向けの営業支援業務が大幅に縮小し、子会社である株式会社シンカにおいても、採用業務代行サービス関連の案件が減少するなど、サービス全般において大きな影響を受けました。またソフトウェアベンダー向け物流業務が、前期の第1四半期末で終了した影響もあり、前年同期に比べ大幅な減収となりました。

これらの結果、売上高は28億65百万円（前年同期比32.2%減）となりました。

③データマネジメントサービス（業務支援）

当サービスは、カード会社向け業務代行サービスにおいて、前期獲得した大型案件が堅調に推移してまいりましたが、消費減退などによるカード業界全体の低迷から、各カード会社においては業務縮小傾向となり、また臨床検査会社向け業務の一部が終了したことなどから、前年同期と比べ減収となりました。

これらの結果、売上高は24億92百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、70億60百万円となりました。

流動資産は3億円減少し、42億56百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産は1億11百万円増加し、27億87百万円となりました。主な要因はのれんの増加と株式の評価替えに伴う投資有価証券の増加によるものであります。

負債は80百万円減少し、44億64百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少、借入金の減少や、未払法人税の増加等によるものであります。

純資産は25億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少し、自己資本比率は35.8%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少し、20億5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億32百万円となりました。主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益と減価償却費の計上、売上債権の回収によるものであり、主なマイナス要因は仕入債務の支払によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億46百万円となりました。主な要因は定期預金の預入及び無形固定資産の取得、子会社株式の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億45百万円となりました。主なマイナス要因は配当金の支払と借入金の返済による支出及び社債の償還による支出であり、主なプラス要因は社債の発行によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・工事契約に関する会計基準の適用

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約については工事進行基準（工事進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の受注契約については工事完成基準を適用しております。なお、この変更による売上高及び損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,105,022	2,164,182
受取手形及び売掛金	1,598,352	1,886,434
商品及び製品	20,602	28,541
仕掛品	25,124	11,664
原材料及び貯蔵品	8,613	9,706
繰延税金資産	262,809	262,304
その他	236,369	216,544
貸倒引当金	△315	△22,592
流動資産合計	4,256,577	4,556,784
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	320,392	339,589
工具、器具及び備品（純額）	172,068	177,013
土地	766,499	767,010
リース資産（純額）	39,099	23,986
その他（純額）	16,692	20,654
有形固定資産合計	1,314,752	1,328,255
無形固定資産		
ソフトウェア	388,919	394,925
のれん	86,093	31,782
リース資産	5,312	2,300
その他	122,635	93,301
無形固定資産合計	602,960	522,309
投資その他の資産		
投資有価証券	220,742	172,740
敷金及び保証金	280,182	276,164
保険積立金	192,731	174,390
繰延税金資産	130,614	150,344
その他	75,927	69,062
貸倒引当金	△30,002	△17,255
投資その他の資産合計	870,194	825,446
固定資産合計	2,787,908	2,676,011
繰延資産	15,959	18,292
資産合計	7,060,445	7,251,089

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,678	562,865
短期借入金	600,000	625,000
1年内返済予定の長期借入金	182,374	171,702
1年内償還予定の社債	353,000	333,000
未払金	678,074	656,792
リース債務	12,634	5,693
未払法人税等	185,501	56,719
未払消費税等	81,603	99,160
賞与引当金	181,691	176,211
その他	227,257	183,508
流動負債合計	2,901,814	2,870,652
固定負債		
社債	904,000	890,500
長期借入金	336,994	439,996
長期未払金	88,442	121,022
リース債務	34,861	22,232
退職給付引当金	65,492	57,105
役員退職慰労引当金	132,620	143,517
固定負債合計	1,562,411	1,674,373
負債合計	4,464,226	4,545,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,725	762,725
資本剰余金	985,635	985,635
利益剰余金	1,353,982	1,412,185
自己株式	△600,305	△600,167
株主資本合計	2,502,036	2,560,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,235	△443
評価・換算差額等合計	28,235	△443
新株予約権	60	60
少数株主持分	65,886	146,067
純資産合計	2,596,219	2,706,062
負債純資産合計	7,060,445	7,251,089

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,565,438	9,464,457
売上原価	8,539,267	7,174,732
売上総利益	3,026,171	2,289,724
販売費及び一般管理費	2,427,397	1,952,268
営業利益	598,773	337,455
営業外収益		
受取利息	964	640
受取配当金	4,699	2,091
受取家賃	2,985	3,982
保険解約返戻金	4,114	5,190
還付加算金	5,650	—
雑収入	3,823	7,588
営業外収益合計	22,237	19,493
営業外費用		
支払利息	28,329	30,234
雑損失	5,975	18,567
営業外費用合計	34,305	48,801
経常利益	586,705	308,148
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	8,341
役員退職慰労引当金戻入額	—	1,505
その他	—	308
特別利益合計	—	10,154
特別損失		
固定資産除却損	2,272	5,120
投資有価証券評価損	64,612	—
投資有価証券売却損	1	—
ゴルフ会員権評価損	975	—
減損損失	—	12,663
貸倒引当金繰入額	9,400	—
役員退職慰労金	8,400	8,232
事務所移転費用	—	18,027
事業再編損	4,216	14,468
その他	—	1,961
特別損失合計	89,877	60,473
税金等調整前四半期純利益	496,827	257,829
法人税等	226,549	192,908
少数株主利益又は少数株主損失(△)	32,598	△28,301
四半期純利益	237,680	93,222

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,879,564	3,099,020
売上原価	2,901,253	2,376,838
売上総利益	978,311	722,181
販売費及び一般管理費	812,583	611,154
営業利益	165,727	111,027
営業外収益		
受取利息	198	156
受取配当金	1,221	837
受取家賃	995	1,850
還付加算金	1,133	—
雑収入	55	2,200
営業外収益合計	3,604	5,044
営業外費用		
支払利息	9,019	9,930
雑損失	1,987	6,380
営業外費用合計	11,007	16,311
経常利益	158,324	99,760
特別利益		
賞与引当金戻入額	42,188	—
貸倒引当金戻入額	—	3,449
役員退職慰労引当金戻入額	—	1,505
移転費用引当金戻入額	—	672
特別利益合計	42,188	5,628
特別損失		
固定資産除却損	813	1,417
投資有価証券評価損	47,814	—
ゴルフ会員権評価損	150	—
事業再編損	—	8,800
特別損失合計	48,777	10,217
税金等調整前四半期純利益	151,735	95,171
法人税等	65,655	71,225
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13,861	△5,824
四半期純利益	72,218	29,771

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	496,827	257,829
減価償却費	137,709	151,264
繰延資産償却額	1,336	4,942
のれん償却額	49,738	2,173
投資有価証券評価損益(△は益)	64,612	—
固定資産評価損	975	—
固定資産除却損	2,272	5,120
減損損失	—	12,663
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,222	△7,928
賞与引当金の増減額(△は減少)	△128,394	5,479
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,711	△10,897
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,643	8,387
受取利息及び受取配当金	△5,663	△2,732
支払利息	28,329	30,234
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△308
売上債権の増減額(△は増加)	134,885	288,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,121	△4,427
その他の流動資産の増減額(△は増加)	109,723	△40,075
仕入債務の増減額(△は減少)	△139,916	△163,187
未払金の増減額(△は減少)	△49,781	△13,925
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,457	△16,140
その他の流動負債の増減額(△は減少)	52,225	44,641
長期未払金の増減額(△は減少)	△40,061	△32,579
その他	△4,114	7,239
小計	714,750	525,855
利息及び配当金の受取額	5,663	2,732
利息の支払額	△28,008	△29,271
法人税等の支払額	△23,215	△66,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	669,189	432,338

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△37,817	△20,215
無形固定資産の取得による支出	△233,683	△144,477
投資有価証券の取得による支出	△93,323	△512
投資有価証券の売却による収入	3,627	1,100
子会社株式の取得による支出	—	△70,813
貸付けによる支出	△7,490	△17,760
貸付金の回収による収入	21,148	18,823
その他の支出	△21,193	△25,805
その他の収入	16,686	13,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,046	△346,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	85,786	△25,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△7,830
長期借入れによる収入	300,000	48,000
長期借入金の返済による支出	△244,384	△140,330
社債の発行による収入	637,343	97,390
社債の償還による支出	△450,000	△66,500
自己株式の取得による支出	△102,757	△138
配当金の支払額	△148,984	△148,241
少数株主への配当金の支払額	△2,550	△2,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	74,453	△245,199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	391,596	△159,159
現金及び現金同等物の期首残高	1,333,945	2,164,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,725,541	2,005,022

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。